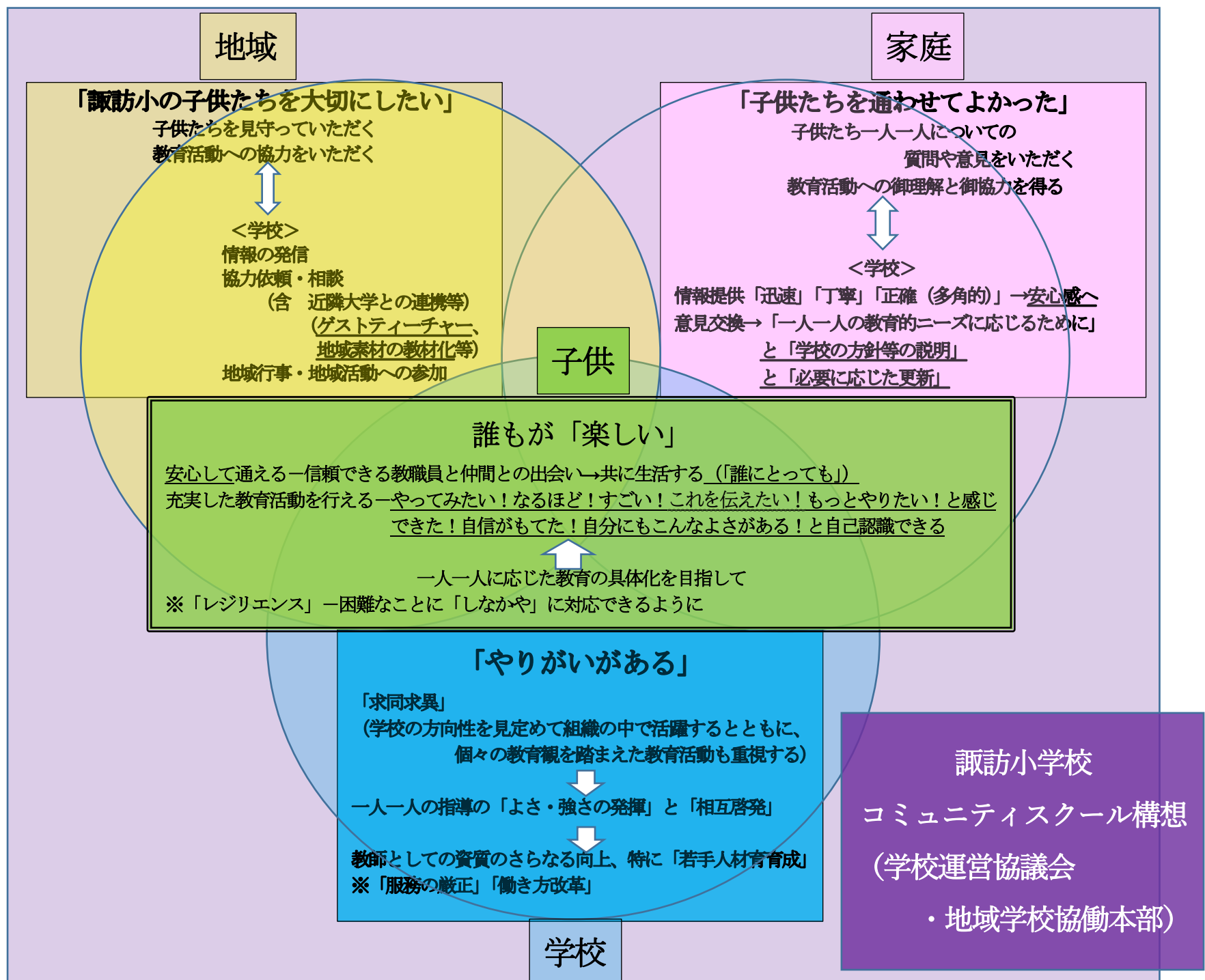


令和5年度多摩市立諏訪小学校学校経営計画（概要）

－「多摩市に愛着をもった子供」を育てることを念頭に置きながら－



教育目標－「生きる力の育成」に向けて
人や自然を愛し、知恵や勇氣、強い体を養い、豊かに生きる力をもつ児童を育成する。

「主体的な学び」のあり方

「目標の明確化」と「方法の具体化」、「指導者の働きかけ」と「仲間からの励まし」→「成果の確かめ」→「自己有用感」
これらを支える「周囲の環境」と「子供たちの健康」

◎重点目標

◎「かしこく」（確かな学力）

（広く学び、深く考えよう）

基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるとともに、これらを活用しながら、自ら課題を見いだしてこれを解決するとともに、自ら判断したり行動しようとしたりする。
（「個別最適な学び」と「協働的な学び」）
※「探究的な学び」を踏まえて
・一つの教科が他の教科へつながり、生かされること
・学校を取り巻く環境を生かした学習活動
（主体的な課題追究→よりよい社会の創造へ）
・夏休み自由研究（教科等の学習を生かして）

「やさしく」（豊かな人間性）

（共に感じ合い、認め合おう）

自分を律しつつ粘り強く最後まで取り組もうとし、また仲間と共に協調しながら相手の立場を尊重しながら自分を認めようとする。→「いじめは絶対に許さない！」
→自己肯定感の高揚へ
・通常の学級と特別支援学級との交流活動・共同学習の推進
・たてわり班活動における多様な関わり
・「すわっ子市場」（農園や花壇での栽培活動→販売へ）
・特別の教科 道徳の充実（「考え、議論する」）
・卒業プロジェクト（第6学年）

「たくましく」（健康・体力）

（体をきたえ、元気に過ごそう）

健康でかつ安全に生活するための知識や技能を身に付けるとともに、これらを生かしながら安心して生活しようとする態度を養う。
・「体力アップ週間」ー縄跳び（短縄、長縄）、持久走
・パラディスポール・ボッチャ等の体験学習
→東京オリンピック・パラリンピックの「レガシー」
・体育学習の充実（含 教員の授業力向上）
・保健指導の充実ー「自身の健康を見つめる」

- 一人一人の教育的ニーズに応える教育の充実（特別支援教育（含 特別支援教室）、カウンセリング、不登校への対応等）
- 「いじめは絶対に許さない」ー防止対策の具体化（未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対応）
- ICT教育の推進ータブレット端末の効果的な活用（家庭との連携を図りながら）
- ◎教科や領域を関連させながら行う教育活動の重視（ESDーSDGs）※「教えるべきこと」と「委ねること」
- 多様な教育活動の位置付け（試行錯誤の保障）
- 何よりもまず「安全」「安心」な教育活動の推進ー「できること」と「できないこと」の明確化、
そして「ゆっくり、急げ（Festina Lente）」（効率化との対比）※牧歌的
- 家庭・地域への情報提供ーホームページ（ブログ等）
- 環境整備（さらに「きれい」に）